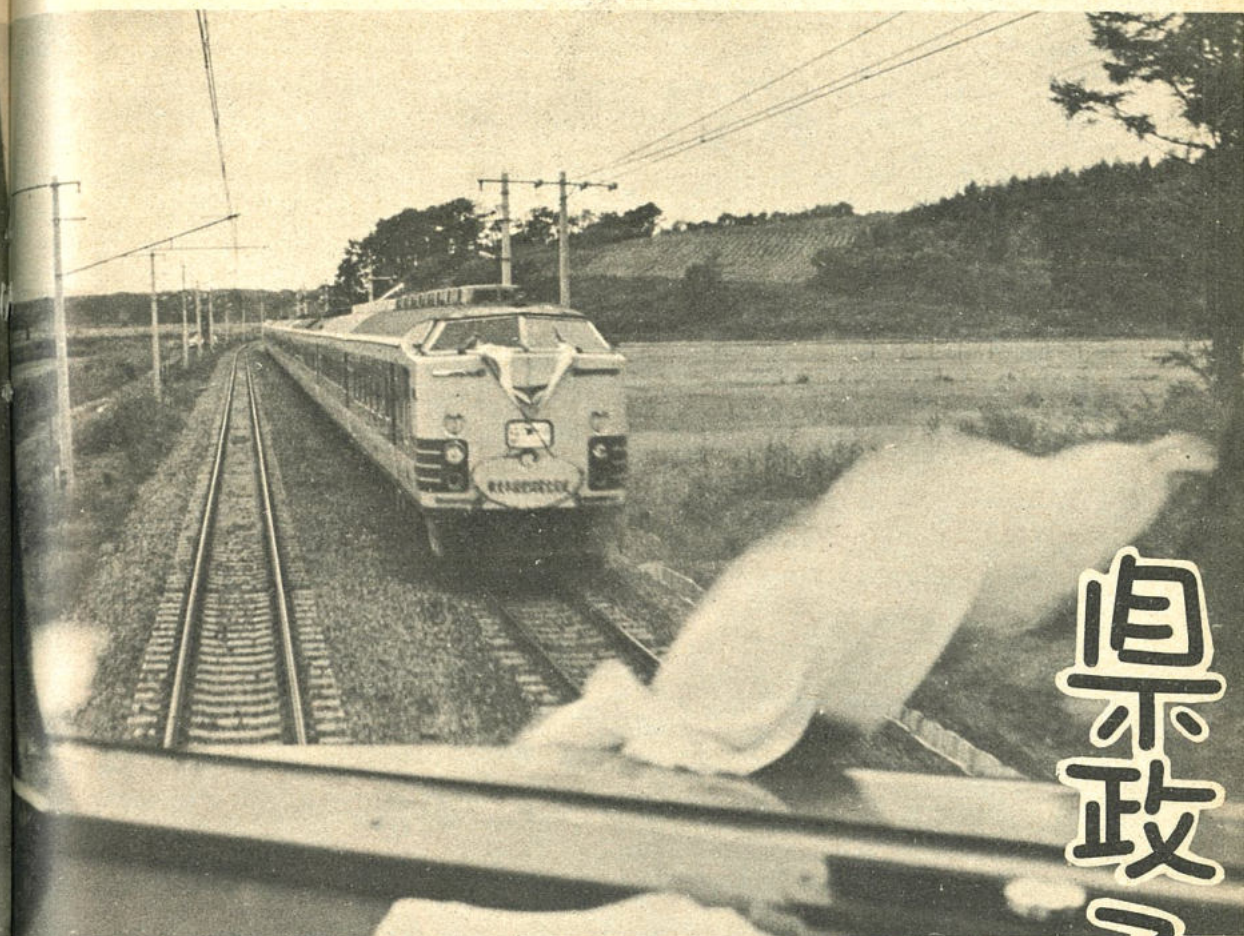


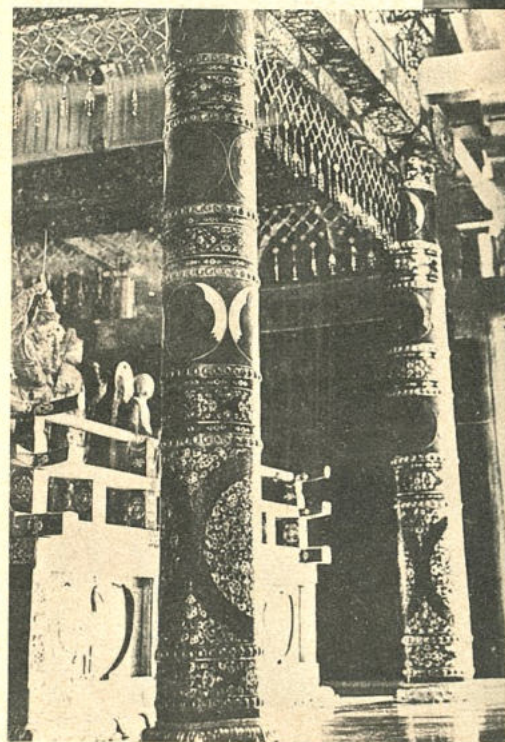
県政の一年

県勢ビッグ・テンきまる

'68



(右) 喜びをのせて走る祝賀列車。
(下) 850余年の夢むすぶ金色堂。



悲願実る夢の高速道路

上昇線を描く県政、躍動する大県構想——上潮ムードに満ち満ちた県政の実情を、幅広く認識してもらおうと、十一月二十六日、恒例のビッグ・テンが決定し、ことしは話題が豊富。以下、ビッグ・テンを中心に県政を回顧してみると

二月十日、「県民の書斎」新県立図書館が開館しました。四十一年十一月着工、約二億一千三百万円の巨費を投じただけあって、盛岡市内丸の岩手公園わきにたたずむ姿は見事な新旧のコントラストを描き、数多く自動化された内部施設は利用者に好評。

話題の焦点・東北縦貫自動車道仙台～盛岡間は、四月一日、建設省が工事もとの日本道路公団に施行命令を出し、やっと悲願達成のメドがついた格好です。東北縦貫自動車道というのは、東京(起点は埼玉県岩槻)と青森をむすぶ約六百七十キロにおよぶハイウエー。

した高校は全国三カ所のうちのひとつと県教委が自慢の高校です。

心身障害児に福音

四月二十日には、国立釜石療養所内に、県下初の重症心身障害児施設「しゃくなげ愛育園」が開園。宮城、秋田について東北では三番目、四十ベッドを有し、近代的設備を誇っています。

重症心身障害児というのは、知能指数三十五以下、身体障害度一～二級、つまり一歳半でいどの知能と運動能力のものをいいます。

県内の重症心身障害児約四百名にとつて、施設オープンは大々的な朗報となりました。

全国に先べん肉牛公社発足

六十年の歳月と一億六千四百万円をかけた世紀の大事業、平泉中尊寺の金色堂修理復元は、四月に完成、五月一日に落慶式が行なわれました。金色堂修理委員会(委員長、藤島亥治郎氏)盛岡市出身、東大名誉教授が、三十七年以來、現代工芸技術の粋を生かし創建当時のあらゆる技法を駆使して再現したもので、堂内外の金バク、内陣の螺鈿(らでん)などまばゆいばかりの輝かしさ。八百五十余年前の建立当初にあざやかによみがえっています。

五月一日、社団法人県肉牛生産公社(理事長、千田知事)の設立総会が開かれ、この日から国内初の大規模肉牛増産体制がスタートしました。この公社は、深刻な牛肉不足のおりから、県内に十カ所の肉牛団地を建設、子牛や素牛を生産して農家などに供給し増産をはかる一方、農家所得の向上をめざすもの。肉牛団地

新校舎に話題集中

同じ四月一日には、定通センター・スクール「杜陵高校」が盛岡市上田に開校。働きながら学ぶ青少年を喜

ばせました。同校は、これまでの盛岡一高と盛岡商高の定時制募集をやめ、これらと盛岡一通信制、旧杜陵高校が一本化してスタート。校舎は

東京～盛岡間四百八十キロと、十和田～青森間八十五キロの基本計画が決定したのは四十年十月。つづいて昨年十一月、盛岡までの整備計画が決まり、ことし四月に施行命令が出たしだい。

総工費は七百四十億円、四車線完成は五十年頃とみこまれ、岩手にもいよいよ夢のハイウエーが実現します。

'68県勢ビッグ・テン

- ① 東北本線的全線複線電化なり、東北縦貫自動車道仙台～盛岡間の施行命令出る。
- ② 世紀の修理なり、金色堂復元す。
- ③ 全国初の県肉牛生産公社発足し、肉牛団地化構想進む。
- ④ 「栗駒国定公園」指定なり、県営有料道路第一号の八幡平線着工す。
- ⑤ 県成人病センター完成し、県下初の重症心身障害児施設「しゃくなげ愛育園」開園す。
- ⑥ 久慈新港開港し、宮古植物防疫出張所開設され、大船渡港木材輸入特定港に指定さる。
- ⑦ 盛岡市中央卸売市場開場す。
- ⑧ 定通センター・スクール「杜陵高校」開校す。
- ⑨ 全国初の沢内村豪雪山村開発総合センター落成す。
- ⑩ 日本一の県林木育種場開場す。



〈写真右から〉

- ①全国でも珍しいハチの巣型の杜陵高校。
- ②山あいなたたずむ「しゃくなげ愛育園」。
- ③秀峰岩手山をバックに軌道に乗った公社滝沢牧場。
- ④八幡平有料道路は頂上めざして急ピッチ。
- ⑤久慈新港は開港以来水揚げ量が激増。



の中核となる公社牧場十カ所のうち、本年度は出資金一億一千万円（県五千万円、農協四連三千万円、東北開発株式会社三千万円）をもとに、▽滝沢牧場（滝沢村柳沢）▽外山牧場（玉山村敷川字大ノ平）の二カ所の造成に着手。滝沢牧場はこのほどは



五月十六日午前九時五十分、北海道から東北にわたって強列な地震に見舞われ、県民を恐怖のどん底に落し入れました。一九六八年十勝沖地震と名づけられたこの地震は、関東大震災に匹敵する規模で、本県の被害総額は三十一億一千三百万円にものぼりました。

ことしは明治百年。五月二十一日には玉山村の岩洞湖畔で、県の明治百年記念造林を実施。アカマツ四千本が植えられ新世紀への発展の誓いを新たにしました。なお、八月には明治百年記念の『県民の森』の構想が公表。三億五千万円を投じて、松

ば出来あがり、十二月下旬には短角種二百四十四頭を導入、公社事業が軌道に乗り出しました。肉牛生産公

槌音高く八幡平に有料道路

尾村松川地区に本年度から五カ年計画で千五百ヘクタールの大規模な森林公園をつくる準備を進めています。七月一日、八幡平アスビテ・ラインの起工式が行なわれました。この道路は、県道大更停車場八幡平鹿湯線のうち、八幡平リフト前上間十・八キロのルート。自衛隊の協力で開設され昨年七月一般に供用している路線です。こんどの工事は、この道路を拡幅、舗装して県営有料道路の第一号にしようとするもの。完成は四十五年春、総工費は三億五千万円の見込み。秋田県側も頂上をめざして有料道路建設を進めており、四十五年度には岩手、秋田をまたぐ八幡平有料道路が完成します。

喜びにわく栗駒山

七月二十一日には、『栗駒国定公園』がわが国二十四番目の国定公園として厚生省から指定。昭和三十七年に、本県はじめて関係三県が大同団結して運動を開始してから七年ぶりの実現です。

指定を受けた栗駒国定公園は、東

北のほぼ中央に位置し岩手、秋田、宮城、山形の四県にまたがる約七千七ヘクタールの広大な地域。栗駒山、焼石岳を主峰に、千古斧を入れない原始林、豊富な温泉群、山岳を色どる高山植物の群落など、東北に残された最後の原始景観地といわれます。指定に伴ない国庫補助事業の導入が可能になり、今後、真湯須川温泉十九キロの県営有料道路の着工をはじめ、各種観光施設の整備、景観の保護対策が進められます。

にぎわう初の掘込み港

八月四日、久慈新港の開港式典がにぎやかに行なわれました。久慈市長内町誠訪下に建設中の久慈新港は三十一年に着工、総事業費が十四億五千万円と規模が大きいことのほか掘り込み方式という工法がミソ。陸地を掘って人工の入江をつくり船が出入りするようにした東北では初めての港です。

八月六日には、東北本線盛岡～青森間（二百四・七キロ）の複線電化が完成。岩手、青森の県境に近い目時駅構内で線路締結式が行なわれました。四十年以来四百四十七億円の

工事費で建設を急いでいたもので、これで上野～青森間の全線複線電化が完了。明治二十四年の上野～青森間単線全通以来七十八年ぶりに面目

を一新しました。

十月一日のダイヤ改正により、特急は百二十キロの高速運転が実現。東京～盛岡間の特急「やまびこ」は、六時間二十分と四十六分短縮され、急行も三十分短縮されるなど、東北と首都圏を結ぶ大動脈として飛躍的な効果を発揮しています。

威勢いいセリ声…

盛岡市が都南村に建設中の『盛岡市中央卸売市場』はほぼ完成、十月一日青果部門が店開きしました。昨年十月以来約六億六千万円で着手し



ていたもので、市場規模は東北一を誇っています。水産部門の開業は明年三月の予定。この卸売市場は、単に売買の能率化をはかるだけでなく農家の計画的な生産、東北北部三県の拠点市場としての働きを果たすなど、大きな役割を担っています。

活気づく大船渡港

十月七日は、北上川水系五大ダム群の四番手・四十四田ダムの完工式十月十六日には、農林省から大船渡港が木材輸入特定港に指定されました。木材港の指定は宮古港について県内では二番目。これまで大船渡に原木を運ぶには、横浜などの同指定港で検疫してからでないと入港できなかったものが、同指定で横浜植物



防疫所の塩釜出張所から検査官出張して検疫。これにより船主の滞船料が安くなり、地元木材加工業者も輸入コストが軽減されるなど、大きな利益となつていきます。

また、同日付けで宮古港が「木材輸入特定港」から「木材輸入指定港」に昇格。横浜植物防疫所宮古出張所が開設、係官一名が常駐して検疫の面で同じような効果をもたらしています。

沢内に都市的拠点

十月十九日は、沢内村豪雪山山村開発総合センターの竣工式が現地で行なわれ、村びと達は喜びにわきかえりました。同センターは、自然条件のきびしい中であつて、都市的な



拠点をもちたせようと、昨年九月、八千三百万円で同村太田地内に着工。一階には村役場、農協、ショッピングセンターが入り、二階には児童室、音楽室、医務相談室、その他が配置

企業林業めざす育種場開業

十月二十二日、規模・内容とも日本一という林木育種場が開場。場所は江刺市稲瀬字瀬谷子。本場をここにおき胆沢町小山苗畑、久慈市侍浜苗畑、金ヶ崎町六原採種圃をかかえて総面積九十五・三六ヘクタール。採種圃を造成し、すぎ、あかまつ、からまつのタネ、サシ木をつくり、民営苗畑に供給して企業林業としての地位を築こうというものです。



され全国初の多目的利用施設。ここ、このセンターを中核に営農団地や村落再編成など、新しい村づくりのプランが着々と進められようとしています。

無電灯農家が解消

十一月二十八日には、県農山漁村電気導入事業達成記念式典が盛岡市県公会堂で興行。昭和二十八年に県下に一万五千戸もあつた無電灯農漁家の解消を祝いました。

成人病の予防、治療、研究の殿堂『県成人病センター』も、十二月二十日に完工、来年一月店開きの予定です。(三―五ページ参照)。

〈写真上から〉

- ①威勢いいセリ声がとどろく盛岡市中央卸売市場の青果部門。
- ②沢内村の豪雪山山村開発センター。新しい村づくりの拠点として将来の飛躍がみえる。
- ③名実ともに日本一を誇る県林木育種場。企業林業めざしてサシ木づくりにも精が出る。

交通安全対策シリーズ(5)

酒気帯びの状態

道路交通法第六十五条には、「何びとも、酒気を帯びて(身体に

政令で定める程度以上にアルコールを保有する状態にあることをいう。……)、車両等を運転してはならない。」と規定し、酒気帯び運転はもちろんめいてい運転を禁止しています。

これを常識的に説明すれば、酒気帯びの状態とは、通常の人(清酒(一級酒)一合一勺またはビール(四合ビン)一・四本を五分以内に飲み、三十分を経過したときの状態で、いわゆる「ほろ酔い」の一手前の状態だといわれています。

普通、酒を好む者は、オレは酒に強いとか、弱いとかいっていますが道交法では酒の強い弱いをいつているのではありません。施行令第二十六条の二に、酒気を帯びた場合のアルコールの程度として

『血液一ミリリットルにつき〇・五ミリグラム又は呼気一リットルにつき〇・二五ミリグラムとする。』と定め、この状態では安全運転ができないおそれがあるので、運転してはならないとしているのです。

『オレは腕がいいから少しぐらいい

よっぱらい運転

飲酒と運転感覚

アルコールが運転にあたえる具体的な悪影響は、個人差が多少あるとしても、車の運転に大切な眼が第一番に正常に働かなくなることです。

その他、中枢神経の興奮状態から生ずるアルコールの悪影響を列記すれば、

▽道路標識、障害物、対向車両などを見落す。フリッカー(臨界融合頻度)検査によると、飲酒後三十分

飲酒運転の結果

酒気帯び運転の報いとして、悲惨な交通事故により自分の生命を失なうか、他人を殺傷することになります。さらには自戒、反省する能力を失ない、交通事故を起こしても気付かなかつたり、罪悪感を失ないひき逃げなどを平気で行なうなど、人道上ゆるせない行為をあえて行ない不幸な人生を送る結果となります。

